

令和6年度外部評価 事業評価シート

No	1	事業名	観光案内所運営事業
所属	商工課	事業開始年度	平成27年度
事業内容	JR安城駅1階において、観光案内所を運営し、市内観光地の紹介、交通案内、認定土産品の販売、各種展示、Wi-Fiサービス、レンタサイクル、図書館の図書の予約・返却等を行います。		
目的	市民及び観光客が安城市の観光資源を知ることができ、地域経済の活性化につながります。		
根拠法令等	なし		
総合計画	観光・交流 施策の取組(3)観光情報の発信・シティプロモーション		
関連事業	観光協会支援事業		
事業の必要性	観光客に対して、現地で信頼できる情報を提供し、求めに応じた情報提供を行うことで観光客の満足度を引き上げるほか、旅行先でトラブル等が生じた際にも、助言や案内を迅速に提供できます。 観光客にとって満足度の高い街は、市民にとっても満足度の高い街といえます。 以上の理由から観光案内所を運営することは有益と考えます。		

【実施状況】どのような活動をしてきましたか

活動実績	来館者数										
	内訳	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	計
	注1 観光案内人数	687	1,995	2,520	2,952	2,803	1,796	2,451	2,329	2,912	17,533
	レンタサイクル利用者	42	118	131	166	101	84	82	87	197	811
	図書利用者	1,320	5,614	6,931	6,100	6,184	5,111	4,888	4,368	4,998	40,516
	コワーキング利用者	250	1,572	2,190	1,876	2,032	1,044	1,702	0	0	10,666
	その他	19,895	77,040	80,449	85,166	96,692	30,902	35,627	36,173	42,202	461,944
	計	22,194	86,339	92,221	96,260	107,812	38,937	44,750	42,957	50,309	581,779
	※R4.3コワーキング終了										
	注1 主な観光案内状況：観光スポット以外交通案内35.9%,KEYPORTについて11.4%, 観光スポット交通案内8.7%,まちなかの催しイベント3.4%,お土産・グルメ3.3%										
	※ 令和4年度より、旧コワーキングスペースを活用して七夕まつり等のテーマを設定して展示を行っています。										

【事業費】どのくらい市税等の一般財源が投入されていますか。どれくらい費用が掛かっていますか。

年間事業費等の推移	No	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	①	事業費(決算額) (千円)	8,893	19,149	17,394
	事業費内訳	補助金			
		需用費修繕料		1,855	
		役務費 火災保険料	4	5	5
		委託料 委託料	6,500	11,418	11,918
		使用料及び賃借料	2,105	5,114	4,712
		負担金	284	757	759
財源内訳	②	人件費(従事職員数×6,600千円 令和6年度からは6,700千円) 従事職員数 (人)	5,280	5,280	5,280
	③	総事業費(①+②) (千円)	14,173	24,429	22,674
	財源内訳	一般財源 (千円)	14,173	24,429	22,674
		特定財源(など) (千円)	0		
		財源合計 (千円)	14,173	24,429	22,674

【活動指標】成果を達成するために必要な活動とその量

観光案内所来場者数	令和5年度 (実績)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)
	50,309人	50,700人	51,100人

【成果指標】この事業が目指す姿と目標値

観光入込客数	令和5年度 (実績)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)
	291万人	293万人	296万人

【課題】成果を達成する上で、課題・障壁となっているものは何ですか

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
	本市の特性、利用実績、利用実態から現状の運営で観光客増及び観光案内所来場者数の増加を図ることは困難です。

【論点】課題・障壁を取り除くための取組内容

外部評価での論点	観光客だけでなく市民及びが観光案内所を訪れ、安城市の観光資源を知り、地域経済の活性化につなげていくため、駅を利用するさまざまな市民を観光案内所に誘客したいと考えますがいかがでしょうか。
----------	--

令和6年度外部評価 事業評価シート

【参考比較】

法律や政令等により、市の裁量では、改善、廃止など変更ができない内容がある場合は、簡潔に記載してください。

観光案内所の入居する建物はJRが所有し、賃貸借契約を結ぶことで市が使用しています。このため、営業可能な業種や、改装工事に制約があります。

経年の状況
(事業開始の経緯
や改善の経緯)

安城市の玄関口JR安城駅1階には長い間書店が営業していましたが、営業を終えた後は空き店舗となっていました。

そこで、創業して間もない企業やこれから創業を志す人たちがオフィス環境を共有し、アイデアや情報を交換することで相乗効果を生むコミュニティスペースであるコワーキングスペースを提供し、観光案内所機能も併せ持つ施設として、国の補助金を活用して平成27年11月にKEYPORTを開設しました。

当時の利用者の約半数が起業を目指している、もしくは起業を始めて事務所を構えた事業者でした。業種は多岐にわたり、巣立った事業者の中には、公認会計士や外国人観光客向けの情報発信サービス提供事業者、スポーツインストラクターなど、さまざまな業種の利用がありました。

平成29年10月には創業支援も取り扱う安城ビジネスコンシェルジュABCを中心市街地拠点施設アンフォーレ内に開設しました。

KEY PORTとABCの役割分担は、創業、起業して間もない事業者が事務所機能としてKEY PORTのコワーキングスペースを活用し、自身の事業を進める中で直面する販路拡大や人材確保などの経営課題を、ABCで解決するといったように役割を分担し、KEY PORTとABC、それぞれ関連がありながらも担う役割は異なり、双方が連携を図り、効率的に創業支援をしていました。

平成30年には、開設当初からの運営会社の破産により、市内のまちづくり会社が運営を担うこととなりました。

事務の合理化を図ることで、以前と比較し2割から3割程度安価な経費で運営ができるようになり、地元の不動産情報等を提供するなど、地域におけるまちづくり会社としての豊富な情報と立場を生かした運営が行われていました。

このころ民間のコワーキング施設が市内で営業を開始していました。

KEYPORTコワーキングスペース利用者が民間事業者へ移る事例もあったことから、公共事業としての役割は終えたと判断し、JRとの建物賃貸借契約の期間満了を受け、コワーキングスペースについては令和4年3月末に閉鎖しました。

観光案内所部分については、このころ大河ドラマでこの地域がもりあがり始めたことから、大河ドラマを活用したシティプロモーションを見据え、観光名所やイベントの案内など来訪者への対応を行うため、旧コワーキングスペース部分も含めて建物賃貸借契約を延長して引き続き観光案内所を運営することとなりました。このため、新たに展示スペースを設け、旧コワーキングスペースと一体的に活用できるよう改修工事を行いました。

現在も定期的に観光企画展示を行い、市内観光情報の発信に努め、観光客はもちろん訪れる人に情報やサービスを提供しています。

近隣10市町における観光案内所の運営状況は下表のとおりです。

都市名	観光案内所名称	開始時間	終了時間
岡崎市	岡崎市観光案内所（名鉄東岡崎駅）	9:00	17:00
岡崎市	岡崎市観光案内所（JR岡崎駅）	9:00	17:00
岡崎市	岡崎市観光協会（龍田案内所）	9:00	17:00
碧南市	－	－	－
刈谷市	刈谷駅前観光案内所	10:00	18:00
豊田市	あさひ観光案内所	9:00	17:00
豊田市	いなぶ観光協会観光案内所	10:00	16:00
安城市	安城駅前観光案内所	10:00	20:00
西尾市	西尾観光案内所	9:30	16:30
知立市	知立市観光交流センター	9:00	17:00
高浜市	高浜市観光案内所 ONI-House(オニハウス)	9:00	17:00
みよし市	－	－	－
幸田町	－	－	－